

平成15年度小豆生育状況(9月15日現在)

平成15年9月22日 各支庁発表

小豆生育状況

支庁	区分		本年	平年差	評価	生育期節	遅速日数	摘要
十勝	草丈	cm	45.4	0.92	やや短い		-9日	生育は9月1日現在に比べて更に1日遅れている。(9/1現在でも1日)上旬前半は良く晴れ、暖かい日が続くも下旬は曇り、雨が多かった。台風14号の影響は然程無く、14日朝にかけて20~60mmの降雨有り。
	葉数	枚	9.5	0.93	やや少ない			
	分枝数	本/m ²	38.2	1.23	多い			
	着莢数	本/m ²	203.8	0.73	少ない			
	主茎節数	節	0	0	0			
	播種	%	0	0	0			
空知	草丈	cm	45.9	-2.4	やや短い		-5日	最高気温23.5 と高かったものの平均気温は18.2 でほぼ平年並降水量は平年比の47%と大きく下回った。日照時間は平年比95%で経過。今後、日照、降水量は平年並以上、降水量も平年並を見込む。
	葉数	枚	10.3	-0.7	やや少ない			
	分枝数	本/m ²	30.7	+4.6	多い			
	着莢数	本/m ²	320.1	+22.3	多い			
	主茎節数	節	11	-0.8	やや少ない			
	播種	%	0	0	0			
網走	草丈	cm	45	90%	短い		-6日	生育は遅れているものの上旬の好天により、9月1日現在より、1日回復している。但し、開花期前後の低温と天候不順により、着莢数はかなり少ない。因みに上旬は気温、降水量が平年並、日照は多く推移。
	葉数	枚	10.2	98%	平年並			
	分枝数	本/m ²	40.2	115%	多い			
	着莢数	本/m ²	245.1	77%	少ない			
	主茎節数	節	0	0	0			
	播種	%	0	0	0			
上川	草丈	cm	43.3	0.95	やや短い		-2日	気温はほぼ平年並、降水量は少なく推移。但し、日照時間は上旬を除き平年を下回り、全体では平年以下となった。
	葉数	枚	10.9	1.06	やや多い			
	分枝数	本/m ²	36.5	1.44	多い			
	着莢数	本/m ²	328	1.14	多い			
	主茎節数	節	0	0	0			
	播種	%	0	0	0			

気象概況(十勝)

帯広観測所 ()は平年比

8月下旬	平均気温	降水量	日照時間
	18.3 (-0.8)	15.0mm(26%)	52.0時間(116%)
評価	0	0	0

割合晴れた日が多く、帯広では22日と23日は真夏日を観測。日照時間は平年の116%とやや多かった。しかし、平均気温は平年に比べ0.8 低く、降水量は26%と少なかった。

9月上旬	平均気温	降水量	日照時間
	16.6 (-1.1)	49.0mm(98%)	40.0時間(96%)
評価	0	0	0

上旬は、良く晴れ暖かい日が続いたが、5日から10日にかけては曇りや雨の日が多く、気温も低く肌寒い日が続いた。この間の平均気温は平年に比べ-1.1 となり、日照時間及び降水量は平年並であった。中旬前半は、11・12日は暖かく、13日朝から14日の朝にかけて台風14号の接近に伴い、管内全域で20~60mm程度の降雨となった。14日~15日にかけて良く晴れたものの管内全域で強風となり、帯広に14日最大瞬間風速23.9mを記録した。

○総評
十勝地区

9月1日現在 小豆以外の作況

金時

草丈	53.8cm	平年比	110%
葉数	4.0枚	平年比	100%
分枝数	35.3本/m ²	平年比	100%
着莢数	117.8個/m ²	平年比	88%
遅速日数	-4日 (全道平均 -4日)		

手亡

草丈	49.0cm	平年比	96%
葉数	8.0枚	平年比	102%
分枝数	47.0本/m ²	平年比	112%
着莢数	210.3個/m ²	平年比	106%
遅速日数	-5日 (全道平均 -4日)		

大豆

草丈	69.0cm	平年比	98%
葉数	18.0枚	平年比	102%
分枝数	38.6本/m ²	平年比	105%
着莢数	311.5個/m ²	平年比	67%
遅速日数	-9日 (全道平均 -5日)		

○平成15年産 小豆予想収穫量

調査結果の概要

平成15年産小豆の予想収穫量は、48,700t(対前年比 90%)で前年産に比べて5,500t減少する事が予想されます。これは、作付面積が前年産に比べ800ha増加したものの、10a当りの予想収量の低下が見込まれる事によります。

区分	作付面積	10a当り予想収量		予想収穫量
平成15年産	30,600 ha	159kg	2.65俵	48,700 t
平成14年産	29,800 ha	182kg	3.03俵	54,200 t
対前年差	800 ha	-23kg	-0.38俵	-5,500t
対前年比	103%	87%		90%

*播種期は、前年並であった。

*播種期以降は、6月上旬の雨により発芽期については概ね前年並となったものの、一部地域においては播種遅れや少雨による発芽不揃いが見られた。

*発芽後、6月は高温・多照・少雨の気象経過により、生育に遅れが見られたものの、上川・網走地域においては、概ね順調であった。7月は全道的に低温となり、茎葉の生育は抑制された。

*低温・日照不足の影響により、開花期は地域差があるものの総じて前年に比べ、やや遅くなった。着莢数は、7月～8月中旬の低温・日照不足により、地域差が有るも前年をやや下回った。

*登熟は8月下旬以降、天候が回復傾向に有るものの、前年に比べてやや不良で推移すると見込まれる。

*以上4点の事から、10a当りの予想収量は159kg(2.65俵)と対前年比 23kgを下回ると思われる。地域別の作柄は、低温・日照不足の影響を大きく受け、殆どの地域で前年を下回ると予想される。尚、生育の遅れが少なく、着莢数が確保された上川地域及び、前年産の作柄が特に悪かった網走地区においては前年を上回ると予想される。